

委員派遣報告書

令和7年2月20日

播磨町議会議長 様

委員会名 議会広報公聴常任委員会

報告者氏名 委員長 宮宅 良

みだしのことについて、下記のとおり報告いたします。

記

1. 会議名等 令和6年度議会広報クリニック、行政視察
2. 派遣目的 議会広報公聴常任委員会として、技能研鑽・情報収集
3. 派遣期間 令和7年2月17日（月）～令和7年2月18日（火）
4. 派遣場所 東京都千代田区、神奈川県山北町
5. 派遣委員 委員長 宮宅 良、副委員長 細田 武男、
委員 岡田千賀子、木村 晴恵、竹内 基就

6. 会議等の概要

【議会広報クリニック】

令和7年2月17日に全国町村議員会館において、令和6年度議会広報クリニックが開催された。当委員会は第2分科会に割り振られ、講師の平本久美子氏から、はりま議会だよりNo.265へのアドバイスを受けた。講師の平本氏は、グラフィックデザイナー、(公社)日本広報協会広報アドバイザーであり、今回、全国5町の議会だよりのクリニックを担当された。

- (1) 播磨議会だよりNo.265へのアドバイス

① 表紙

- ア GOODポイント 町民との距離が近い印象が伝わる
 - ・町民による手書きの題字
 - ・組み写真による表現の工夫
 - ・町民の顔が見える写真
- イ CHECKポイント 基本3色以内で文字が読みやすい配色を
 - ・色数が多くまとまりのない印象
 - ・配色の組み合わせで可読性の低い箇所あり（例：赤とオレンジ）

② 巻頭ページ

- ア GOODポイント 反復のルールで統一感のある紙面
 - ・結論を見出しで伝えている
 - ・デザインに統一感あり
- イ CHECKポイント すべてが強調され打ち消しあっている
 - ・余白が少なく窮屈な印象
 - ・ほとんどの要素を枠で囲っている

③ 一般質問ページ

- ア GOODポイント 概要がつかみやすい構成
 - ・共通デザインで現在地がわかりやすい
 - ・見出しで質疑応答の概要を伝える
- イ CHECKポイント 囲みやアイキャッチが多く窮屈なイメージ
 - ・フォントの変化がない（質疑への回答）

④ 改善アドバイス

- ・枠で区切らずに余白で区切って
- ・引き続き住民目線の興味をひく編集を
- ・UD教科書体だけでなくUDゴシック体も取り入れて
- ・一般質問の大見出しフォントをUDゴシック体に（質疑への回答）

(2) 所感

全体的にデザイン重視のアドバイスであったが、はりま議会だよりにおいて、新たな視点として改善すべき点が明確になり、今後の編集に活かしていきたい。

【山北町行政視察】

令和7年2月18日、神奈川県山北町にて行政視察を行った。

山北町議会の「やまきたまち議会だより 議会のおとNo214」は、全国町村議会議長会による令和5年度町村議会広報表彰（第38回広報コンクール）において、奨励賞（言語・文章部門）を受賞している。また、全国町村議会議長会は、先駆的な取り組みを行っている25町村議会の協力を得て、議会活性化事例集「議会力アップの

ための活動例～住民とともに歩む議会像を求めて～」を作成しているが、山北町も取り上げられている。

(1) 山北町議会広報広聴委員会 概要

- ・委員構成 議長を除く全議員（11名）をもって組織
- ・発行部数 4,200部（年4回発行）
- ・配布方法 自治会長等から各戸へ配布
- ・令和6年度予算 1,500千円（印刷製本費）

(2) 広報広聴委員会の活動

① デジタル班とアナログ班とに班分け

ア デジタル班の活動・取組

- ・議会だよりの編集

「議会だよりの」から親しみやすいタイトル「議会のおと」に変更。

- ・年1回の議会活動レポート編集（カラー印刷）及びYouTube配信
- ・議会録画YouTube配信
- ・議会広報モニター設置

広報紙の外部評価として町内6地区から11名を公募選出。

イ アナログ班の活動・取組

- ・おしゃべりカフェ（隔月13時30分～15時30分）開催
開催場所は町民が集いやすい駅前店舗やスーパー駐車場等。
意見を集約し、年度末に町へ提言。
- ・県立山北高等学校との関わり
総合的な探究の時間（授業）に参加。

(3) 所感

山北町は、広報広聴委員会で議会の広報と広聴を機能集約しており、議長を除く全議員で組織されていることの重要性や意義を認識することができた。その背景として、議員のなり手不足や議会の見える化・見せる化を意識され、全議員で取り組まれていることは、特筆すべき点であった。